

電友会四国連合会報

第 77 号

4 年 1 月

目 次

年頭にあたって(取締役四国支社長).....	二
年頭ごあいさつ(電友会四国地方本部長).....	三
保険についてのおしらせ.....	三
私は今.....	四
秋の叙勲(浅井幸英さん).....	四
電気通信産業功労賞を受賞.....	四
電友会ボランティア活動賞を受賞.....	四
電信電話記念日の表彰.....	五
余 栄.....	六
敬 弔.....	六
恩給・共済年金受給者の処遇改善を陳情.....	六
NTT情報.....	七
メッセージイン・サービス開始.....	
自動車電話交換機を最新型に更改.....	
地域ニュース.....	八
NTT・OB軟庭クラブ秋季大会(松山).....	
正月用寄せ植えを勉強(高松).....	
電電徳島温古会臨時総会.....	
川 柳.....	八
表紙のことば.....	八
テルウェルだより.....	八

年頭にあたって

取締役四国支社長

千葉 正 人



電友会の皆様、明けましておめでとうございます。皆様がたには、ますます御健勝でよいお年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素は、NTT事業に対して深いご理解と格別のご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。電友会が全国組織に統一され、年毎に充実に図られ、四国の会員数も三、四〇〇名に達し、ますます御発展を続けられておりますこと、まことに御同慶のいたりと存じます。

さて、昭和六〇年四月に電信電話公社からNTTに衣替えしてから早くも七年目を迎えるようになっていますが、この間、私達は、お客様を第一の発想の原点として「よりよいサービス」を「より安く」提供するために、たゆまない努力を重ね、お客様サービスに対する社会からの批判等、NTTに投げかけられた「信頼」に対する疑問の回復に、全社員一丸となって取り組んでまいりました。

しかしながら、昨今のわが社を取り巻く経営環境は年毎に厳しさを増してきており、平成三年度決算は、電信電話公社時代を含めて史上初（一〇一年目）の電話収入減少となる

と予測されます。

これは、電話料金値下げ、NCC参入によるシェアの減少等によるものが主因であることは明らかであります。四国における新規参入事業者であるNCCのシェア拡大の状況を見ましても、ポケットベルにおいては三〇%を越えており、自動車電話・携帯電話機に關しましては五〇%強とNTTのシェアを若干上回る状況となっております。

また、市外通話サービスにつきましては、高松・松山に次いで昨年八月から、徳島においてもPOI（相互接続）が設置され、この三県における県外通話の二〇%強はNCCが占めており、その増加傾向は年を追うごとに大きくなるものと予測されます。

来年度も、以上のような状況を踏まえて、草の根型の増収施策として、昨年度から実施しているトランポリン作戦、ポパイ作戦を継続して推進し、さらに、民営化の原点に戻り、地道に、お客様のニーズの掘り起こしに努め、増収に努める必要があるものと考えております。

また、NCCとの競争につきましては、先導的電気通信事業者としての役割を十分に認識のうえ、お客様に正しい情報を提供し、お客様が間違った判断をすることのないよう、例えば、NTTが有利な一分以内の通話、あるいはNTTが有利な通話地域等について十分理解していただけるよう、あらゆる機会を通じてPRして行くことが必要であると考えております。

さらに、NTTの信頼感に大きく疑問を抱かせた、料金誤請求問題・一部社会的批判を浴びているダイヤルQ問題等については、地道な努力の積み重ねによる信頼の回復と、新しいメディア利用の健全な発展を促す努力に

より、お客様のご理解をいただくことが必要と考えております。

四国の業務運営体制は、一昨年一支社一三PU体制及びタスク化を完了しましたが、これは、お客様サービスの改善・向上を通じてお客様の「信頼」を回復し、企業として継続的に発展して行くため「お客様を中心に据えた、業務運営体制」に変革していくものであり、自己完結型の業務運営を推進定着させる必要があるためであります。

来年度はこの業務運営体制を基本として、ネットワーク事業本部との一部業務の見直しや、グループ経営への変革を行う必要があります。

また、需要が急増しているISDNへの対応、デジタル化の早期推進等、NTTに与えられた課題は多く、面的設備投資の推進・ネットワークサービスの提供を促進する設備づくり等、工事の効率的な実施を含めて実施することが、四国支社の責務であると考えております。

皆様方は、私達の先輩であられるとともに、地域社会においても厚い信頼を得ておられる方々でございますので、今後ともNTTと地域社会との橋渡し役をお願いするとともに、豊富な知識と経験を發揮していただき、今後の電気通信事業の発展のため、ご指導、ご支援賜りますようお願いいたします。

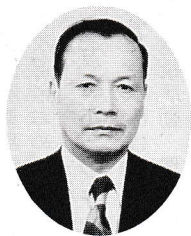
おわりに、皆様方のご健康と御多幸並びに電友会のご繁栄を心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



年頭ごあいさつ

電友会四国地方本部長
(電友会四国連合会長)

六 車 美 一



新年明けまして
おめでとうございます。

電友会会員の皆
様には、日ごろ会
に對し御協力いた
だきありがとうございます。

またN T Tにお
かれましては、会の運営に多大の御支援を賜
っており感謝に堪えない次第でございます。
現在、四国の電友会会員は三千四百人を超
えるに至っており、全国では七万四千人以上
を数えております。そして毎年相当の増加を
みております。

われわれ電電・N T Tの退職者の全国的団
体が、従来の電退連という連合体組織から、
全国一本の電友会に発展的改組をしたのは、
平成二年四月一日のことでした。じ来二年近
くたちましたが順調に発展して参り、会員の
為になる電友会を目指して努力して参ってい
るところであります。会員各位におかれまし
ても今後とも一層の御理解・御協力をお願い
申しあげます。

電友会は、N T Tとの関係において、相互
支援・相互協力の精神で歩んでおりますこと
は皆様御承知の通りでありまして、N T Tか
らは会運営上の財政的支援を拡大していただ

き、一方電友会としては、N T Tに直接・間
接に寄与できる問題を持ち寄って、個人的に
団体的にいろいろ実行されていることはまこ
とに好ましいこととあります。

会員の皆様の中には、それぞれ御自分の地
域社会において、例えばコミュニティの役員
・世話役に就いている方もあれば、福祉の仕
事を受持つ方、ボランティア活動に尽くされ
ている方など世の為、人の為に働いておられ
る方が多くおられます。こうした貴重な存在
となつていらっしゃる方が、数多くおられるといふこ
とは、電友会にとつても大いに誇りにすべき
事であると思ひます。ついでに申しておきま
すが、電友会本部では今年度「電友会ボラン
ティア活動賞」というものを創設し、去る平
成三年一月二十九日、その第一回授賞を東京
で行い、全国で二十五の個人または団体を表
彰しました。その中には四国から二個人(二
件)の被表彰者の方が含まれており、誇りに
思うところであります。

共済年金について申しますと、年金額のス
ライドの改定の件は、平成二年四月から「前
年の消費者物価上昇率を引上げる」という
方法が法律上確定しまして、平成二年度分、
同三年度分と既に二回実施されました。この
いわゆる自動改定方式は、従前にくらべると
著しい改善進歩ではあります。しかし高齢化
社会を迎えて、右以外の制度的改善を要する
事柄が少なくありませんので、(例えば税制
面、改定率を何に根拠を置くかの面、医療費
軽減の面など)他の友誼団体と呼応して陳情
等の活動をつづけているところとあります。
去る一月二二日N T Tは平成三年四月か
ら九月に至る半年間の中間決算結果を発表し
ましたがそれによると予定より相当落ち込ん

だものとなつており、平成三年度末を見通し
た経常利益は予定を二七〇億円も下回る三、
七五〇億円という厳しい見通しとなつてい
ようです。特にN C Cの進出により市外通話
料の落ち込みがひどいということです。

N T Tの経営状況の良否は、われわれO B
にとつても重大な関心事であります。若しN
T Tから、地域社会へのP Rなどてわれわれ
お役に立つことを持ち掛けられたときは、御
協力させてもらいたいと思ふ次第です。

終りにあたり、会員各位の御健勝をお祈り
いたします。まさに健康は何よりの条件であ
ります。御自分に適した健康法を探し出し、
意義のある第二の人生をお築きくださいま
すよう、そして健康を損ねておられる方は、ど
うか御加養のうえ、御快復の一日も早からん
ことを心から念願申しあげつつ新年のごあい
さつと致します。



保険についてのお知らせ

このたび皆様にお届けしました、電友会会
員のための保険のうち、「電友会団体傷害保
険」については、電気通信共済会を取り扱っ
てくれますが、「生命・傷害セット保険」は
取り扱いませんので、これについてのお問い
合せは、パンフレット記載のところへ、直接
ご照会下さるよう、お願いいたします。

秋の叙勲

平成三年秋の叙勲に際し、多年にわたる電気通信事業に貢献されたご功績により、松山市の浅井幸英様が叙勲の榮に浴されました。

まことにめでとうございました。

勲五等瑞宝章
浅井幸英様



電気通信産業功労賞を受賞

溝 渕 道 信様 (高松)

多年にわたり、電気通信産業の発展に尽力されたご功績により、旧年十一月二十三日、社団法人電気通信協会会長(米澤滋氏)から電気通信産業功労賞が贈られ表彰されました。

まことにめでとうございました。

電友会ボランティア活動賞を受賞

電友会本部は、会員が永年、地域振興活動、社会福祉活動、環境の美化・保護活動、文化活動等を通じて地域社会に貢献するとともに、そのことに自らの生き甲斐を見出し、地道にボランティア活動に取り組んでいる個人・団体を対象に、今後本部長名の標記「活動賞」を贈ることとなり、去る十一月二十九日、第一回表彰式が行われ、次のお二人が受賞されました。

まことにめでとうございました。

○ 亀田政雄様 (松山) ○ 筒井武徳様 (松山)

私は今

○ 石丸 廣之 (松山)

退職して十二年、ボランティアを志して九年、高齢者ボランティアグループ「緑寿会」に属して七年、ボランティア三昧に明け暮れ、一人で悦に入っていたら、最近では体調不良で、まず右肩痛にきた。

続いて胃腸の変調(便秘と下痢状の繰り返し)で体重は九斤も減少、おまけに糖尿の気もあると、嚴重な注意を受ける始末。

すべてのボランティア活動を中止して、来年を期して活性化に励んでいる現状です。お互いに健康で元気で頑張りましょう。

○ 住田 豊 (松山)

第二の職場を退任して、二年目の新年を迎えました。

昨年十月に入學した高齢者大学での「生きがいは自らの手で」、「生涯現役論」等々の講演が、今まで仕事のこと以外無関心だった自分には一つ々々がよき教訓となっています。

また近所の老師範の指導による詩吟、石手川堤防の四Kコースの早朝散歩、さらに旧友と楽しむ海釣りも定着し、趣味・健康管理にもやっと目どが付きまいた。

妻が以前から言っていた「汗かき」「恥かき」「物をかく」の「三かく運動」の実践もなかなか味のあるものです。

ともあれ、人生八十年の時代え、元気で楽しく、長生きすることに心がけたいものです。

○ 森本 寛一 (松山)

過ぎ去った歳月は短いと言われますが、退職後早くも十二年余の月日が流れました。はた目にはともかく、自分ではまだまだ若いつもりでも、今は三児(一番下は小一)の祖父であります。

地域においても、世話役の新旧交替期を迎え、今は小さな老人クラブの会長として、お世話をさせてもらっております。

また天気と相談しながら、家庭菜園や、庭木・草花の手入れに汗を流したり、読書三昧に時を過ごすこの頃であります。

○ 栗田 一也 (伊予)

いろいろ成人病と付き合っていますが、まづは息災で暮らしております。

一昨年から孫二人の子守をする羽目になり、毎日文字どおり、おもちゃ箱をひっくり返しています。

気分転換に四軒の散歩を日課にしています。が、途中重信川の河原で一休みし、青い空を見上げていると、今までのいろいろな出来事や、お世話になったことなどが思い出され、懐かし、またありがたく思っています。

今年は数えて古稀、中断中の自分史の訂補最終版を仕上げたいと考えています。

○ 脇水 満 (八幡浜)

ボランティア活動をとおしての私。昭和五七年春退職、請われるままに安易な気持ちで参加したボランティア活動であるが、もう十年。

今では各種団体の役職を多数兼ね、結構忙しく、退屈することもなく健康で毎日を過ごしているが、人間関係のむづかしさから来る嫌気で辞任を考える反面、未知の人々との交

流の中から、よき友を得る喜びや諸行事とおしての楽しみなど、元気で地域のお世話ができることを幸せと思っています。

今年も年齢を考えず頑張るつもりです。

○ 檜垣 種一 (今治)

公社を退職して、約九年がアツという間に過ぎました。

娘三人は結婚して他家の人となり、退職後宅地を購入し、半分強に家を建て、残りを畑にして野菜・果物・花などを作りながら、娘夫婦に二人ずついる孫六人が時々来るのを楽しみに、家内と二人の生活が続いています。

古川英治の「晴れた日は晴れを愛し、雨の日は雨を愛す。楽しみある所に楽しみ、しみみなき所に楽しむ」を口ずさみつつ、自分の好きなことをして、たった一度の人生を、楽しく、精一杯に生きようと努めています。

○ 宮川 多喜恵 (西条)

退職して早五年が過ぎました。

腰痛もヨガを始めて良くなり、週一回のヨ



電信電話記念日の表彰

さる十月二十三日の電信電話記念日（NTT第七回）に当たり、永年電信電話事業に協力されたご功績により、次の方々が四国支社長から表彰されました。

まことにおめでとうございます。

○安藤 保様（高知）○越智静馬様（今治）
○加藤省三様（松山）○地行祐助様（徳島）
○長島正行様（徳島）○森安 明様（高松）

ガの日が楽しみです。

また朝三十分位、西条名水ゾーンや陣屋跡等を歩き、俳句なども作ります。退職後も月一回の句俳句会に出かけ、在職者とともに親睦を深めておりますが、文化祭の時などは水引細工の製作にも余念がありません。

さらに薄茶を楽しんでおり、月例の茶会では命の洗濯をと心がけております。また家での創作の絞り染めは始めたばかりで、何ができるか楽しみに、毎日忙しく過ごしています。

○ 滝 美和子 (高松)

退職したら、いろいろやりたいと思っていたことが実現はしたが、いざやってみると、若い時のようには頑張りがきかない、これも年のせいでしょうか。

今は煎茶に落ちつき、現職時代にいろいろ教わった人間関係も参考にし、楽しい毎日を送っております。

これからも趣味を通じて、今日の出会いを大切にし、健康に気をつけ、心楽しく過ごしたいと頑張っております。皆様もお体を大切になさって、自分に合った趣味を持ち、老いいく命を有意義に過ごされますよう……。

○ 森川 清和 (高松)

度重なる如法寺での坐禅のおかげか、まず健康。

ゴルフOB八一会への皆勤、毎月四十数名の仲間と、プレイも会話も最高。

地域社会への仲間入り十年目、M・T・Sと時代色豊かな人間関係、時には地域歴史のヒモトキも必要。気長の秘薬ではあるが、足がしびれる。

遅ればせのボランティア、八月末に発足、

元気な仲間と、残っているエネルギーをしぼり出してみたい。思い出の泉は枯るゝことなく、明日又新たななりか。

○ 幸田 廣男 (徳島)

○お仕事NTT四国移动通信(株)の監査役を命ぜられています。

○趣味Ⅱ時の流れに遅れないようにと、時事川柳をやっています。昨年あたりは地元紙に百回余り採用・掲載され、コラム欄への引用が二回、ラジオの全国向けが三回ありました。また全国の旧友からも電話を頂きました。ゴルフは週一ペースのボギー・プレーヤー、快適にやっています。

○勉強Ⅱシルバード大学在学中で、大学公開講座等で、修了証書が年に五、六通もできます。

○ 雲財 武 (板野)

父祖の眠る故郷・板野町へ!!

山河は大きく様相を変えていたが、往時と変わらぬ友人知人に帰郷を喜んでもらってから、八年になります。

現在当地の老人会、自衛隊父兄会、ゲートボール協会などの会長というのですが、助けられたり助けたりで、愉快にやっています。

毎日旺日の集い、月一回の老人学級、春秋の慰安旅行、お神輿のお供、児童との歩け歩け大会など、数多の行事に参加し、故郷に濃密に解け込んでいます。

○ 柴田 マサ子 (高知)

生き甲斐とボケ防止のために、退職後は俳句をたしなんでおりますが、なかなか奥が見えず、入口でうろちうろちしております。

昨年は、句材を求めて青葉の木曾路と、き

すげの花咲く霧ヶ峰高原へ旅して、日本の自然の美しさに感動し、萎んだ胸をふくらませてまいりました。

これからも自然を友とし、移り変わる四季の現象を、拙い五七五に託して、二十世紀を細やかに生きた証にしたいと思っています。

。軒行灯吊りて朧や宿場町

。雲の影動く草原きすげ咲く

○ 藤田 尚輔 (高知)

老後の健康

私の現役時代は喫煙癖が酷く、多くの方々に多大のご迷惑をおかけし、申しわけなく、深くお詫び申し上げます。

退職直後、反省を込めて禁煙を断行し、以来十年嫌煙者に転向し、目下・快適で健康な生活に感謝しております。

さらに老後の健康対策として、ゲートボールと築山や鉢植の水やり・手入れを日課としており、特にゲートボールは、チーム全員遊び心に徹しているので、楽しさも倍加し、懸命に励んでおります。

○ 畠山 利雄 (伊野)

退職して十一年になりますが、至極元気で暮らしております。

私は特に健康法としてはやっておりませんが、規則正しい生活と、疲れた時には十分に休養すること、老人ぼけの予防と趣味を兼ねて、毎週一回、町の公民館の書道教室に通っております。長男夫婦と孫三人(中一・小五・小三)は松山市に住んでおりますので、現在は家内と二人だけの生活です。

たまに帰って来る孫達の元気な顔を見るのが、何よりの楽しみです。

余 栄 (死亡順)

正七位勲六等瑞宝章

故 野田安一様 (板野)

同 故 横田格一様 (松山)

從六位勲六等瑞宝章

故 渡部 進様 (松山)

敬 吊



次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

氏 名	死亡年月日	享年	所 属
津野 勝美	3・9・28	八一	伊野
福田 義秋	3・10・4	七二	高松
三島 富二	3・10・6	八七	徳島
赤木 武義	3・10・7	六五	讃岐三木
渡部 武進	3・10・14	六六	松山
平山 正則	3・10・19	六六	松山
山本 正一	3・10・25	六六	高知
藤田 貞頼	3・10・27	六二	大洲
島内 秀鹿	3・10・29	八五	南国
田淵 義信	3・11・4	八〇	高松
石川 三郎	3・11・9	七四	土佐中村
坂本 録男	3・11・10	六七	松山
河野 雅義	3・11・11	六三	松山
藤原 重明	3・12・15	七四	松山
白石 典久	3・12・21	八四	松山

恩給・共済年金受給者の 処遇改善を陳情

電電共済年金の受給者として、生活のすべてを年金に託している、われわれ会員の生活の安定を確保するため、さる十一月一日、電友会長および各県支部長連名で、各県選出の衆・参両議員全員に対し、概要次のような陳情を行いました。

- 恩給受給者と共済年金受給者間の格差を是正すること。
- 年次改訂は、現職公務員の給与改善率を基準とすること。
- 従前補償額を増額すること。
- 職域年金部分を引上げること。
- 恩給扶助料、遺族共済年金を増額すること。
- 公的年金等控除、老年者控除等、関係控除額を大巾に引上げ、税金を大巾に軽減すること。
- 熟年者の医療費の軽減を図る税制とすること。
- 年金財源の抜本的改善策を樹立すること。
- 審議会等の委員に、年金受給者団体の代表を加えること。



NTT情報

四国で初めて
声の私書箱

「メッセージイン」サービス開始!

十二月十九日から愛媛県で

NTT四国では、自由にメッセージの録音、再生、消去ができる契約型の音声蓄積サービス「メッセージイン」を、四国では初めて十二月十九日から愛媛県で提供を開始しました。このサービスは、契約者が自分専用のメッセージボックスを使って、特定のメンバー間で自由にメッセージを伝えあうことができるもので、契約者はいつでも自由に暗証番号を変更できるなど、機密性が高く、ビジネスやグループ間で安心して利用することができる。いわば「声の私書箱」といったものです。

主な機能としては、
①一つのメッセージの録音時間は、最長三分まで可能

②最大三十件までのメッセージをストック

③保存期間は最高三十日まで一日単位で設定

④録音したメッセージは、いつでも消去可能などがあります。

なお、契約は愛媛県内のお客様に限られますが、利用は全国どこからでもできます。NTT四国では、このサービスを外出が多い営業マンとの連絡用、夜間・休日などの社員連絡網、またサークル、PTAなどグループのコミュニケーションツールとして、ご利用いただければと考えています。

なお、サービスの概要、料金等は次のとおりです。

【サービス概要】

本サービスの契約者及びメンバー（契約者から暗証番号を知らされた方）が、NTTのセンタにアクセスすることにより、メッセージの録音、再生、消去が可能な契約型の音声蓄積サービスで、プッシュ・INS回線の電話及びプッシュ式公衆電話であれば、全国どこからでも利用できます。

【契約条件】

愛媛県内に加入電話（INS回線を含む）をお持ちの方を対象とします。

なお、契約は一回線一契約といたします。

【提供料金】

(1) 付加料金

定 額	料 金	月 額
定額料	九〇秒まで毎に	二〇〇円
従量料	九〇秒を超えて毎に	一〇〇円
従量料	一分までのメッセージを一日まで毎に	一〇〇円

・従量料金は契約者以外の方が利用した分も含め、契約者にお支払いいただきます。

(2) 工事料 二、〇〇〇円

※このほか、センタへのダイヤル通話料が必要で、

【提供地域市外局番一覧表】

センタ名	センタ番号	契約できるお客様の市外局番
松山センタ	#8771	(愛媛県内に電話回線をお持ちのお客様) 〇〇八八九六、〇〇八八九七、〇〇八八九八、〇〇八八九九

【お申込方法】

ご利用の申込みは、愛媛県内のNTT支店、営業所でお受けいたします。

今後の需要増・ニーズの多様化に向けて

自動車電話交換機を
最新型のデジタル交換機に更改!

平成三年十二月二十一日から

NTT四国では、十二月二十一日、四国全体をカバーする自動車電話用交換機（NTT高松ビルに設置）を、従来の自動車電話電子交換機（D一〇型AMS）から最新型の自動車電話デジタル交換機（D六〇型AMS）に更改します。

これは、自動車・携帯電話及び船舶電話の今後の需要増・多様化するお客様ニーズに対応するとともに、一層の通話品質の向上を図ることを目的とした、NTT移動体通信網構築の一環として全国的に実施しているもので、東京周辺から順次、更改が進められており、四国においても全国レベルの設備状況となります。

これにより、加入者収容能力が約三〇、〇〇〇加入から約六〇、〇〇〇加入へと、二倍にアップするほか、来春、松山・高松地域で予定されている「大容量方式」の導入が可能となり、導入後は、さらに良好で均質化した通話品質及び通話回線の増大が図れ、自動車・携帯電話が一層便利にご利用いただけるようになります。

(注) — 大容量方式とは —

大容量方式は、自動車電話・携帯電話の需要の増加に伴い、通話回線の不足してきた大都市地域を中心に通話回線容量の増大及び通話品質の向上を図るため導入された方式です。現在、四国地域で使用している（中小都市方式）のサービスエリア半径が十〜二十kmと広いのに比べ大容量方式は約三kmと一つのサービスエリアを小さくし、基地局数を増加することにより通話品質の向上均質化を図る方式です。

地域ニュース

NTT・OB軟庭クラブ

―平成三年度 秋季大会開催―(松山)

去る十一月九日(土)、秋たけなわの堀之内市営コートにおいて、当クラブの本年度秋季大会が開催されました。

所用のため参加できなかった方もあり、いつもより小人数となりましたが、好プレイ、珍プレイを織り混ぜての熱戦が展開され、充実した大会となりました。

また、恒例の反省、懇親会では、軟庭の技術面のことやら、「電電四国軟庭部」の黄金時代の昔話などに花を咲かせたことでした。

当日の成績は次のとおりです。

優勝	三好(純)、溝田	組
準優勝	福山(岡本)、玉木	組
三位	山崎、三好(章)	組
四位	松垣、田内	組
五位	藤野、内藤	組

(玉木記)

正月用寄せ植えを勉強

(高松)

香川園芸サークル(会員数八九名)では、さる十二月六日、荒井会員のお世話により、国分寺農協盆栽部の久保先生の指導をいただき、正月用松竹梅の寄せ植え(宝来作り)を勉強し、終日ややかな談笑の中、各自で手作りの立派な正月用の飾りを作りました。

(高松・清水記)



電徳島温古会臨時総会



旧年十月二十三日、NTTの招待パーティーに先立ち、午後二時から行われたテルウェル主催の文化講演会に引き続き、二五〇名の出席を得て開催。概要次のようなことを行った。

○ 情報連絡分担の依頼。

○ レクサークル活動状況の説明と入会勧奨。

○ NTT四国副支社長講演(九月二十七日、松山で開催)の要旨伝達。

○ ボランティアNTT徳島OB会の活動状況の説明と、年末たすけ合いの募金活動。

春のうた歌うと消える山の雪
当てられては困るが見栄が挙げさす手
目くばせがなんだか判る仲になり
衣食住足ってロソンの鬼と棲む
ゆったりとできぬ嬉しさ孫がくる

川 柳

佐々木 光(枚方)

森 安 文 子(高松)

森 安 文 子(高松)

森 安 文 子(高松)

森 安 文 子(高松)

森 安 文 子(高松)

森 安 文 子(高松)

森 安 文 子(高松)

表紙の言葉

猿

莊 野 丹 秀(内海)

新しい年を迎えることに、時の流れを感じ世のうつり変わりを思う。

去るものは追わず、健康で希望をもって、よい年を迎えたいものです。

テルウェルだより

テルウェル創立四十周年記念
ゲートボール四国大会を開催

テルウェル福祉センターでは、テルウェル創立四十周年記念行事の一環として、十一月九日、松山市東雲公園に、四県の愛好者チームを集めてテルウェル杯争奪ゲートボール四国大会を開催しました。テルウェルからも佐伯副支部長以下五名でチームを結成し、松山ゲートボールサークル幹事の松下武さんやサークルの方々の特訓を受けて参加しました。

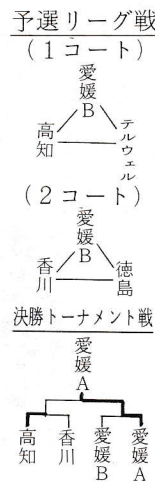
当日は、前日の雨天とは違って変わっての快晴で、グラウンドコンディションもよく、佐伯副支部長から「ゲートボールは、健康維持に最適のスポーツと実感しており、これを機会に、香川、徳島、高知でも、サークルを作っていただき大いにその輪を広げてほしい」とあいさつ。続いて、愛媛の本伊政雄さんの選手宣誓が行われ、プレーを開始しました。

大会には、香川六名、徳島五名、高知五名、愛媛A七名、愛媛B七名、テルウェル七名の六チーム三十七名に、大会の競技運営委員として終始お世話いただいた松下さんを加え、総勢三十八名でプレーを展開。テルウェルチ



ームは、最初の第一ゲート通過の難関に苦しまれ、予想どおりの最下位でしたが、秋晴れの下、気分爽快、心地よい汗、又参加者全員から、この企画に大いに感謝され、楽しく意義ある一日でした。

なお、結果は次のとおりで、優勝・準優勝チームにはトロフィーと記念品、又他チームには敢闘賞として楯と記念品が贈られました。



平成三年度「NTTOB」いよ大学修講 六十三名に修了証書を授与

(松山地区)

福祉センターでは、平成三年度の「NTTOB」いよ大学」最終回(第六回)の教養講座を十一月十四日(木)松山市二番町の愛媛県水産会館において開催しました。

当日は、最終回の締めくくりとして、テルウェル藤谷四国支部長の講話を計画したこともあり、八十二名が参加、「あんびしやす」の演題に、「どんな話が聴けるのだろうか」と期待の私語が交わされる中、同支部長から、人生八十年代を迎え、どのような目標(戦略)をもって生きていくかを、配布のレジュメにしたがって講演されました。柱として①新しい大きな変化への認識②定年後の一般的なOBの生活実態③私達は何を考えるべきか④世代間の変化が出ている⑤自分の戦略として何を考え、チャレンジすべきか。の六項目について、事例を交え諄々と説かれ、更に参加者全員に「これからの私の一日」を配布の時計図

に書き込んでもらう場を設定、参加者間に、これまでの計画性のない日々反省の声やさやかれました。

最後に宿題として、配布用紙にこれからの私の一日」「私のアクションプラン宣言」を是非書いておくように締めくくり、参加者から「我々の年代にピッタリの講話で、大変参考になった。」と好評でした。

講座終了後、全六コースのうち五コース以上受講された方を代表して、上田昇さんが登壇、藤谷支部長から修了証書と記念品が手渡され、盛会裏に修講しました。

「NTTOBサロン」たまたまオープン (高松)

長年OBの方々の願いでもあった四国四県へのNTTOBサロンの開設は、すでにさる四月一日松山・徳島地区でオープンし、当該地区のOBの方々に大変喜ばれ、利用者も逐次増えつつありますが、このほど高松地区にも十一月十九日(火)、高松市内町のNTTOB高松支店北ビル内に開設され、盛大にオープンセレモニーが行われました。

紅白の幕で設営された会場で、まず施設・備品等無償で提供されたNTTOB高松支店の辰村支店長から「松山・徳島地区に少し遅れたが、今日ようやく開設することができた。今後の運営は、ノウハウをもつテルウェルにお任せするが、より多くのOBの方々の利用を期待したい。」とあいさつがあり、続いて宮本県支部委員長、宮下香川電友会会長がいさつ、終わりに、テルウェル藤本香川営業所長から「今後、OBの方々の憩いの場として喜ばれる運営に努力します。」とあいさつ、引き続きあいさつされた四人の方々によりテープカットが行われました。

このあと、参列者一同がサロン内を見学、立派に改修された室内、快適に配備された備品等に、「これは素晴らしい。」との声が変わりました。

なお、同サロンの運営日、サービス内容は次のとおりです。

- 運営日・毎週月曜日・土曜日
(日曜日、祝日、年末年始は休日)
- 運営時間 午前十時から午後六時
- サービス内容 受付者(女性)を終日配置
・テレビ・ビデオデッキ・新聞・雑誌・囲碁・将棋・茶道具・生花道具を備えています。

(湯茶のサービスはありますが、飲食炊飯はできません。)
◎お一人でも、お気軽にお立ち寄りください。

投稿規定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
 - 二 短歌、俳句 五首又は五句以内
 - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 二月二〇日
- ・字数はなるべくお守りください。
・原稿の取扱についてはお任せ願います。

電友会四国連合会会報 第七七号

平成四年一月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局 松山市一番町四一三(二七九〇)

NTTOB四国支社内

電話(〇八九九)三六二二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社



この世から、
話し中なんかなくなればいいのに。

キヤッチホリ

- 電話のフックボタンをワンタッチ。お話し中にかかってきた別の電話を、逃さず受けられます。
- 工事費はかかりません。
- 現在ご利用中の電話機を取替える必要はありません。
- 使用料は月々たったの300円(消費税別)「プッシュ回線」とのセットなら、月々50円割引になるお得なセット割引も。
- 一部ご利用になれない地域があります。
- お申込みは電話一本でカンタン。局番なしの116までどうぞ。